

## 高麗博物館「作る会」の歩み

年	月・日	事業	資料
1990	8・16 ●	朝日新聞に申英愛氏の投書掲載	現物又はコピーの確認
	9・8	「作る会」準備会 こまくさ幼稚園 30名	「高麗」1号
	9・30	発会式 稲城第4文化センター、30名	「高麗」1号
	12・2	伽倻琴演奏とシンポジウム—韓国・朝鮮・日本の文化交流を求めて パルテノン多摩 60名	「高麗」1号
	12・28●	「実現させたい、このような博物館」／東海林	「高麗」1号
	12・28	博物館をつくる、(小島淑子、申英愛、須江淳、松本めぐみ、中山進、永田峰子、関口澄子、高橋泰子、小林恵子、きどのりこ、坂本尚各氏の意見)	「高麗」1号 高麗の意味
1991	2・11 ●	日本人の一人として／藤沼、青写真のタタキ台／小島、追跡「北関大捷碑」／永田、	「高麗」2号 文化財に関する関心
	4・12	公開講座 日朝の文化交流史をまなぶ(1) 高崎宗司「日朝文化交流の在り方を考える」	「高麗」3号
	4・27	「文化財返還問題との絡みの中で—日朝文化交流の歴史博物館を」／東海林、追跡「北関大捷碑」2 幻の文化財リストを手にして／小島、博物館づくりについて／小林	「高麗」3号 文化財
	5・13	公開講座日朝の文化交流史をまなぶ(2) 姜徳相	「高麗」2号
	6・14	公開講座日朝の文化交流史をまなぶ(3) 李進熙	「高麗」2号
	7・12	公開講座日朝の文化交流史をまなぶ(4) 矢沢康祐	「高麗」2号
	8・30	朝鮮史は日本を見る鏡／東海林、朝鮮大学校歴史博物館を訪ねて／坂本、金さんの思い出／奈古、 無垢な魂を変えてしまう教育／小島	「高麗」4号 在日
	9・13	公開講座日朝の文化交流史をまなぶ(5) 山田昭次	「高麗」2号
	11・7	総会へのお誘い(1年を振り返って、文化財と近代史)／東海林、東京国立博物館・東洋館見学記／坂本、 一年たったの記／小島、ありのままの自分を取り戻す(1)／宋、旗田巍「日韓条約と文化財返還問題」／伊藤	「高麗」5号 文化財 在日
	11・30	第一回総会早稲田奉仕園 第一部講演 趙景達 第	「高麗」5号

		二部、第三部一人芝居「身世打鈴」宋富子	一人芝居
	11・28	朝日新聞朝刊「高麗博物館 つくる会 1周年」記事	「高麗」6号
	12・24●	「高麗」総会特集号 種はまかれた／東海林、しあわせな総会／小島、記念講演を聞いて／中田、宋富子さんへの手紙／坂本、ありのままの自分を取り戻す(2)／宋、元従軍慰安婦・金学順さんの証言／徐、差別—その1「知らないことから」／松本	「高麗」6号
1992	2・29	連続講座へのお誘い「学問か、収奪か」／東海林、差別—その2「知らないことから」／松本、ありのままの自分を取り戻す(3)／宋、韓国・天安の独立記念館を見て／胡口	「高麗」7号
	3・? ●	事務所の開設 稲城市東長沼 1086 稲城教会内	「高麗」7号
	3・6、10	事務所開設に関する新聞報道(朝日、読売)	「高麗」7号
	4・18	「日本・韓国・朝鮮の文化交流の明日をひらく」第一部講演 角田房子「日本と朝鮮半島の新しい歴史を考える」、第二部歌李京順川崎麻生文化センター	「高麗」7号 イベント
	5・8	朝鮮文化講座 第1回 西山武彦「韓国古文化財問題の虚実と日本」	「高麗」7, 9号 文化財
	6・2	角田房子講演報告「息長い活動を」、趙景達講演報告「文化の民族」	「高麗」7号
	6・12	朝鮮文化講座 第2回 西山武彦「韓国文化財はいかにして日本に運ばれたか—宋山里6号墳の場合—」	「高麗」8号 文化財
	6・27	朝日新聞(岡山、香川、名古屋、多摩)全国連絡会結成記事を掲載	「高麗」9号 全国連絡会
	7・10	朝鮮文化講座 第3回 西山武彦「対韓歴史認識と謝罪」(「文化財」を変更) 稲城第4文化センター	「高麗」8号
	8・27	韓国文化財の返還問題／東海林、西山武彦講演「宋山里6号墳の盗掘」要約、全国連絡会の結成(岐阜、三重に「高麗博物館つくる会」を始める?)	「高麗」9号 文化財 全国連絡会
	9・12	壬辰倭乱四百年追悼・平和記念式典 早稲田奉仕園	「高麗」9号
	9・25	朝鮮文化講座 池明観「壬辰倭乱と東アジア史」	「高麗」9号
	10・10	基本構想のための準備会開催(新井勝紘、小林克、富山妙子、松浦基之、矢沢康祐、) 報告／東海林	「高麗」10号

	11・9	木村伊佐さんを訪ねて／坂本、各地からの報告（熊崎、山口、宮内）、「教科書問題を考える市民の集い」に参加して／関口、角田房子講演「日本と朝鮮半島の新しい関係を考える」要約／編集部	「高麗」10号
	11・14	第二回総会（神田パンセ）、第1部講演 姜尚中「冷戦後の日本と朝鮮半島の和解に向けて」、第2部総会、第3部サムルノリ グループ「パラム」	「高麗」10号
	11・27	東洋経済日報「韓日市民の手でつくるぞ“高麗博物館”」、近く準備委を設置、支援の輪も全国ネット	「高麗」11号
	12・28	日本と在日の文化運動、新たな一步／東海林、講演 姜尚中「冷戦後の日本と朝鮮半島の和解に向けて」要約（上）、新潟から中倉睦子「過去と未来を結ぶ場を」、岐阜から卞元守「統一時計に寄せる思い」、身世打鈴講演と各地の動き（岐阜、大阪、三重、香川からの報告）「身世打鈴」日程、	「高麗」11号 地方連絡会 各地報告
1993	3・21	「ハンギョレ新聞」に紹介「日本市民運動団体に韓国歴史博物館推進」	「高麗」13号
	3・27 ●	改めて「高麗博物館」の意味を思う／東海林、「高麗博物館を一大文化センターに」池明観氏にインタビュー、（文化の出会いの場、新しい文化のモデルを示し、想像する場）、講演 姜尚中「冷戦後の日本と朝鮮半島の和解に向けて」要約（下）、李用鎮氏聞きとり「朝鮮半島から日本へ」、宋富子さん講演同行記、講演予定、「一人がもう一人の会員を」のお願い	「高麗」12号 高麗の意味 一人芝居 在日
	5・16	朝日新聞記事「高麗博物館」の夢へ一步	「高麗」13号
	5・21	第3次連続講座「朝鮮史を学ぶ」第1回講師 岡百合子「古朝鮮から三国時代、そして統一新羅へ」	「高麗」12号 連続講座
	6・5	第1回構想委員会報告／東海林、全国のつながりのために―「第1回協議会」報告―／東海林（新潟、名古屋、大阪、兵庫、福岡から参加 東京に一つ、なんで大阪・神戸でないの？各県に一つの祖語）、「壕」を見学して／香山、小林。	「高麗」13号 構想委員会 全国連絡会
	6.18	第3次連続講座「朝鮮史を学ぶ」第2回講師 岡百合子「新羅文化 渤海という国 新羅から高麗時代へ」	「高麗」13号

	7・5	第3次連続講座「朝鮮史を学ぶ」第3回講師 岡百合子 「李朝の成立とその文化」	「高麗」13号
	？・？	第2回構想委員会報告（写真展の準備、資料の収集、在日の歴史、日朝関係史への発展）／東海林、東京にある近代日朝関係の史跡／高柳、国立民族博物館を見学して／太田、『玄界灘は知っている』紹介／関口、「身世打鈴」講演協力のお願いと同行記、	「高麗」14号 構想委員会 一人芝居
	9・17	第3次連続講座「朝鮮史を学ぶ」第4回講師 岡百合子 「植民地へ」	「高麗」14号
	9・25	今も続く性の奴隷制／東海林、真実を取り戻す作業を一緒に（聞き取り調査の勧め）／奈古、「ハンセン病資料館」を訪ねて／高柳、骨太の歴史を／小島、江戸東京博物館見学記／山下	「高麗」15号 在日
	10・15	第3次連続講座「朝鮮史を学ぶ」第4回講師 岡百合子 「解放から分断へ」	「高麗」12号
	11・27	第三回総会 第1部講演中野泰雄 第3部金順子	
	12・25	韓国の三つの博物館を訪ねて（国立中央博物館、安重根記念館、独立記念館）／東海林、テーマは「安重根」三周年の集い／坂本、総会報告／豊岡、講演 中野泰雄「日本人と安重根」楽しい二次会／小島	「高麗」16号
1994	3・19	「コリアタウン」に触れて／東海林、蘇又先さんを訪ねて／奈古、岡百合子連続講座第3回、第4回報告／中田	「高麗」17号 在日
	4・1	第4次連続講座 講師 李用鎮「江華島事件」	「高麗」17号
	5・6	第4次連続講座 講師 李用鎮「日帝」その1	「高麗」17号
	5・28	悲しみを知る人々／東海林、第3次連続講座「朝鮮史を学ぶ」第5回 講師 岡百合子報告—解放の喜び—そして新たなる分断の悲しみ／高嶋、朝鮮総督府編纂「初等国史」を読む（1）／大石	「高麗」18号
	6・18	第3回構想委員会（矢沢、松浦、新井、小林、高柳、）	「高麗」19号
	7・30	川崎の集いで希望ふくらむ（川崎の「多文化共生」の街づくりと博物館のビジョン）／東海林、 強制連行・五十年目の再訪（1）李用鎮氏、夏瀬ダム／小	「高麗」19号 強制連行

		島、朝鮮総督府編纂「初等国史」を読む（2）／大石、チマ・チョゴリへの暴力に立ちあがる人々／坂本	
	8・24, 25	さあ、松代へ出発	「高麗」19号
	10・15●	基本構想ができた（新井、姜尚中、姜徳相、小林、高柳、富山、松浦、矢沢）／東海林、強制連行・五十年目の再訪（2）李用鎮氏、／小島、朝鮮総督府編纂「初等国史」を読む（3）／大石 松代報告／藤田、小林	「高麗」20号 基本構想 強制連行 在日
	11・26	第四回総会4周年記念の集い、講演：山田昭次 江戸博	「高麗」20号
1995	1・29	国家を超える？（今日の朝鮮との連帯、金子文子、吉野作造、柳宗悦を通して）／東海林、「四周年記念の集いに参加して」／豊岡、江華島に思う／関口、高麗博物館設立を願う（一つの小さな博物館を通して真実を知ること…）／田村、朝鮮総督府編纂「初等国史」を読む（4）／大石	「高麗」21号   22号欠
	6・4	民衆の輝きに与る（徐勝さん、韓国民主化との関わり）／東海林、戦後五十年に想う／山崎、訪韓記（パゴタ、西大門、国立中央博物館、独立記念館、安重根記念館）／関口、川崎市内に事務所を探しています。	「高麗」23号 民主化運動
	7・7～	11日まで 第一回韓国旅行	「高麗」21号
	9・15～	21日まで、川崎国際交流センターで解放50年のイベント「日清戦争錦絵写真展」	「高麗」23号 写真展
	9・22	東洋経済日報に「写真展」関連記事掲載	「高麗」25号
	10・8	歴史認識と高麗博物館の幻（必ず実現する幻）／李仁夏、第一回韓国旅行報告（I）／関口、田中、山岸、東海林（路）、菅沼、	「高麗」24号 韓国旅行
	12・2	第五回総会 「五周年の集い」江戸博、	「高麗」23号
1966	1・21 ●	次の五年間に向けて（それまでの5年を振り返って）／東海林、民衆の視点で一当会五周年の集い報告／編集部、富山妙子講演「…ハルビン・ソウル・東京」／編集部、自分たちで作ろう！ブックレット「こういう博物館をつくりたい！」／小島、小林、菅沼、	「高麗」25号 五年を振り返って 次の五年に向かって

		戸田、三輪 イベント「日清戦争錦絵写真展」報告(姜徳相氏講演と金順子氏韓国舞踊)／編集部、川崎コリアタウンはできるのか／山崎、 第一回韓国旅行報告(続)	26号欠
	8・24	公開講座 講演高柳俊男「近代の東京と朝鮮」	26号?
	10・10	南京にて／東海林、誌上博物館ただいま建設中／中田、朝鮮飴屋／関口、韓の国と浴衣(ナザレ園報告)／戸田、「ナムムの家」上映会報告／小島、イルボンハルモニ、小田切	「高麗」27号
	12・15	第六回総会と6周年記念の集い 記念講演会 姜徳相「日本の大韓ナショナリズムを考える」	「高麗」27号
1997	4・15	浅川兄弟の地を訪ねる／東海林、連載1むかし話／岡、公開講座 講演高柳俊男「近代の東京と朝鮮」報告、 報告6周年記念の集い／関口、「在日朝鮮人のアピール」(「自由主義史観研究会」「新しい教科書をつくる会」などの動きを憂慮する在日朝鮮人のアピール)を受けて／東海林、牛窓－朝鮮通信使応接地訪問記(1)／関口 女ふたり、イベント奮闘記(みつ・ともえコンサート)／坂本、	「高麗」28号 イベント 沢ともえコンサート
	4・21～	25日まで、第2回韓国歴史探訪	韓国旅行
	5・24	みつ・ともえコンサート、川崎産業振興会館	「高麗」27号
	6・11	見学「法隆寺献納宝物展」、東京国立博物館	「高麗」28号
	7・20	キムさんと野草と民族学校／小島、連載2「パンソリ」(恨を超える唄)／岡、 第2回韓国歴史探訪報告・感想(7ページ)／関口他、沢ともえコンサート「メッセージを発信するうた」／李仁夏、「チャリティーコンサートの舞台裏」／利光、	「高麗」29号 7ページに亘る韓国旅行報告
	9・12	浅川巧の故郷探訪	「高麗」29号
	10・30	「とってもきれいな名前だね」／李淑子、連載3「朝鮮人とユーモア」／岡、 いよいよ展示の場所を確保するために(発足7年を迎える時期に)／東海林、6周年記念の集い講演 姜徳相「日本の対韓ナショナリズム」要約／編集部、浅川巧の調査・学習始まる(10周年記念の準備のため)／小田部 心の金持ち(全生園の石神さん、金子さんから多額の寄付)	「高麗」30号 調査・探訪 学習

		／坂本、日韓の若者と焼物や当会の話／関口	
	11・22	第7回総会 7周年記念の集い 江戸博、講演 「教科書に見る日韓関係史」／君島和彦	「高麗」29号
1998	2・21	地球共同体の時代に／東海林、連載4「朝鮮人のユーマ・2」／岡、7周年記念の集い一つの報告（教科書講演に対する感想、京都会議での大国の横暴）／東海林、財政を建てなおすために一総会で話し合ったこと／小島、一人芝居「愛するとき奇跡はつくられる」（挨拶）／宋富子、なぞの美ほとけ一百済観音／坂本、山形戸沢村の高麗館／小林喜美男	「高麗」31号
	5・15	金大中大統領の就任式に招かれて（就任あいさつ、当会への理解と寄付、これからの交流）／東海林、キトラ古墳と百済大寺の新たな発見／坂本、連載5 「朝鮮のこころー民衆の心をつむぐ詩歌（その1）」／岡 鳥取に協力グループ結成の動き（鳥取の集いに出席して／関口、一人芝居・鳥取公演の成功／小谷明男、私たちの取り組み／無替幸夫）、おや、あの「強飯式」の被りものは？／関口、	「高麗」32号 民主化運動 鳥取につくる会
	9・12～	22日まで、写真展「朝鮮の歴史ー日朝交流を軸として、関連講演 鄭香均「自分の人生を語る生き方をー裁判をたたかう中で見えてきたもの」	「高麗」33号 写真展
	10・11	都市の文化創造に参加（韓・日・中国際シンポジウム「東北アジアにおける市場経済と統一」）／東海林、連載6「民衆の心をつむぐ詩歌（2）」／岡、7周年記念講演会要旨君島和彦「教科書に見る日韓関係」	「高麗」33号
	11・21	第8回総会、講演会 講師 宮田節子「日本の朝鮮支配を考える」 江戸博 参加者 20名	「高麗」33号
	1・16	連続講座第1回 岡百合子「仏教の朝鮮への伝来」 稲城市中央公民館	「高麗」34号 連続講座
1999	1・31	展示活動に力を入れる（これまで「朝鮮通信使」、「錦絵：日清戦争」、「安重根」の写真パネル展）／東海林、宮田節子講演要旨「日本の朝鮮支配の本質ー「内鮮一体」を中心に、李仁夏氏朝日社会福祉賞受賞（1月4日朝刊に報道）	「高麗」34号 展示活動

	2・13	連続講座第2回 岡百合子「朝鮮仏教と日本仏教」 稲城市中央公民館	「高麗」34号
	3・13	連続講座第3回 高史明「現代人の心と仏教」 稲城市中央公民館	「高麗」34号
	3・20	連続講座第4回 「話し合い、総合討論」 稲城市中央公民館	「高麗」34号
	3・22～	26日まで 第3回「韓国の心を訪ねる旅」21名	韓国旅行
	5・31	温かい人々と文化(第3回韓国旅行)／東海林、連載6「民衆の心をつむぐ詩歌(3)」／岡、第3回「韓国の心を訪ねる旅」報告・感想／関口、岡田、はら、日森、石塚、降矢、連続講座「仏教伝来と現代の私たち」報告／東海林、	「高麗」35号 韓国旅行
	10・10	十二分に気遣いの必要な隣人との友好(宋在徳さんへのお詫びと感謝)／関口、連載6「民衆の心をつむぐ詩歌(4)」(李陸史「蒼ぶどう」、尹東柱「序詩)」／岡 日本・在日コリアン共通の故郷「飛鳥」で(飛鳥京庭園)／坂本、連続講座第3回 高史明「現代人の心と仏教」報告、	「高麗」36号
	11・13	ハンマウムチャリティー 李花子とその仲間たち、エポックなかはら(川崎市)	「高麗」35号 チャリティー
	12・18	第9回総会、講演 辛基秀「朝鮮通信使」、展示 江戸博	「高麗」36号
2000	3・5	ハンマウム(ハンマウムでないのに、それでもハンマウム)／東海林、第9回総会報告(1.活動の展望、2.活動報告、3.会計報告)、連載6「民衆の心をつむぐ詩歌(5)」(姜恩喬「つつじ」、金芝河「綱わたり)」／岡、ハンマウムチャリティー報告／坂本、	「高麗」37号 朝鮮通信使
	3・11	第1回池明観著『ものがたり朝鮮の歴史』読書会、稲城教会	「高麗」37号 読書会
	3・21～	31日まで、「朝鮮通信使パネル展」稲城中央公民館	「高麗」37号
	4・8	第2回池明観著『ものがたり朝鮮の歴史』読書会、稲城教会	「高麗」37号
	5・13	第3回池明観著『ものがたり朝鮮の歴史』読書会、稲城教会	「高麗」37号
	6・20	心温まる大合唱(聖歌隊コンクール)／佐藤尚、「銃	「高麗」38号

		剣と処容の舞」(堤巖里事件)を観て/東海林、真の親善とは?(熊本本妙寺看板)/関口、「通信史パネル展」報告 連載6「民衆の心をつむぐ詩歌(6)」(趙炳華「分かれる練習をしながら」、洪允淑「人を探しています」、洪允淑「装飾論」、崔華国「喧嘩酒」、/岡、伊藤秋男朝鮮考古学講義「新羅のコップはローマングラスか?」要約/江水	
	10?・?	南北和解に日本人も貢献できる/李仁夏、連載6「民衆の心をつむぐ詩歌(7)(アリランの歌)/岡、胡口靖夫緒『近江朝と渡来人』を読んで/坂本、「朝鮮通信使講演会とパネル展」報告/編集部、西郷南洲顕彰館館長山田尚二「史実が示す真の征韓論」、十周年記念講演会	「高麗」39号 南北問題
	10・27	第十回総会、講演会池明観「韓国現代史の課題—民衆史観に立って」韓国YMCA	「高麗」39号
2001	1・15 ●	「21世紀・東アジアの平和—十周年に想う」(この10年、二つの講演から、会の今後)/東海林、講演池明観「韓国現代史の課題—民衆史観に立って」連載7「民衆の心をつむぐ詩歌(8)/岡、朝鮮通信使の足跡を訪ねる旅(対馬)/関口、	「高麗」40号 十周年に想う
	3月12~	23日まで、第4回「韓国の心にふれる旅」	「高麗」40号
	4・16 ●	ついに開館への第一歩を踏み出す(2月~3月ビルオーナーとの話し合い、借りる約束)/東海林、「歴史を学とは」(「新しい歴史教科書との対比」で)/東海林、後三国時代と高麗の建国/李栄司、連載8「民衆の心をつむぐ詩歌(9)/岡、受職倭人に変身した倭寇—李朝の倭寇対策「告身」/関口第4回「韓国の心にふれる旅」報告/江水、	韓国旅行
	4・21~	28日まで、朝鮮通信使パネル展示報告? 稲城市中央公民館ロビー/関口、	28日までの展示報告が16日に?
	6・30	第11回臨時総会	



